

あのエコ、このエコ、大集合。 ストップ温暖化「一村一品」大作戦

ストップ温暖化「一村一品」大作戦では、全国各地で 1070 件の取り組みが集まり、その中でも選りすぐりの一品が各都道府県代表として選ばれています。いずれも甲乙つけがたい取り組みですが、ここに 47 都道府県代表の一品(取組)をご紹介します。

1. 北海道「雪で、電気のいらぬ冷蔵庫。」

雪の冷蔵エネルギーで、ヒット商品ぞくぞく！人口 4,000 人の「雪のまち宣言」。

【団体】沼田町

【タイトル】雪冷熱を地域資源として ～輝け雪のまち、沼田町の取り組み～

【活動概要】

北海道でも有数の豪雪地帯、沼田町では、雪の冷熱エネルギーを活用した世界初の施設「スノークールライスファクトリー」を建設。貯蔵された米を沼田産「雪中米」として出荷している。そのほか、公共施設への雪冷房導入や、雪冷熱を活用した農作物栽培、学校教育の中にも沼田町独自に「利雪学習」を採り入れ、子供たちに雪エネルギーを始めとする新エネルギー学習の場を設けています。地元温泉旅館でも「雪中そば」など地元の食材でふるまっています。



代表になれなかった取組でも・・・

北海道は「食」をテーマに一村一品を展開。地産地消やチーズづくりで廃棄物ホエーを有効利用したり、ハウス暖房で木質ペレットをつかった取り組みなどがありました。

【問い合わせ先】

北海道地球温暖化防止活動推進センター TEL 011-218-7811

http://www.heco-spc.or.jp/ippin/food_4.html#anchor

2. 青森県「エコの先生は、小学生。」

小学生が中心になって地域のエコ活動を推進。
大人たちを巻き込み、地域ぐるみの取り組みに。

【団体】五戸町立南小学校

【タイトル】京都議定書達成「南小プラン」のもと、地域に省エネ活動の輪を広げる！

【活動概要】

南小学校の児童は、全学年がエネルギー環境問題について系統的に学習している。3・4年生は、親子で「ミニミニエネルギーサミット」を開催し、5・6年生は、地球に優しい新エネルギーについて学び、実際に風力と太陽光発電を行い電飾などに活用。さらに、京都議定書の目標（14%減）を達成するために、環境家計簿の記帳をすすめる「エコライフ出前講座」を子どもたちが地域に出向いて開催しています。2008年3月には、「地域子どもエネルギーサミット」を開催し、それぞれの地域に根ざした省エネ活動を広げていく予定です。



【問い合わせ先】

青森県地球温暖化防止活動推進センター TEL 0178-22-1507
<http://www.eco-aomori.jp/>

3. 岩手県「クルマよりも、自転車が似合う街。」

マイカー利用を自転車や公共交通機関にシフト。
街ぐるみの“減クルマ”活動で、CO₂削減。

【団体】“減クルマ”でまちづくり実行委員会

【タイトル】どんと晴れ！自転車、徒歩、公共交通。“減クルマ”でまちづくり

【活動概要】

岩手県盛岡市において、市民団体を主体に、商店街、行政、交通事業者、交通専門家などで構成する実行委員会を組織し、“減クルマ”をキャッチフレーズに掲げた活動に取り組んでいます。活動のねらいは、クルマ利用を抑制することによるCO₂の排出削減など都市の環境改善とともに、環境にやさしいさまざまなアクセス手段を確保することでまちなかの活性化につなげること。平成19年は、国土交通省の制度を導入し、とくに自転車の利用を伸ばすことをめざしたエコ交通への転換を促すための社会実験に取り組んでいます。



【問い合わせ先】

岩手県地球温暖化防止活動推進センター TEL 019-606-1752
<http://www.aiina.jp/environment/>

4 . 宮城県「かまぼこ揚げたら、クルマを動かせ。」

揚げかまぼこの廃油から、町のクルマが使うバイオ燃料を生産。

【団 体】塩釜市団地水産加工業協同組合

【タイトル】エネルギーの地産地消で魚のまちは元気一杯

【活動概要】

塩竈は水産練り製品生産高が日本一という地域特性を活かして、揚げかまぼこの生産過程から発生する大量の廃食用油を BDF 事業によって資源へと転換。BDF 製造プラントの建設や廃食用油の回収から BDF の製造・販売までの事業運営を行うほか、市民と一緒につくった地域協議会で普及啓発を展開。



代表になれなかった取組でも・・・

予選を通過した 20 団体からさらに 10 団体が優秀賞を受賞。

【問い合わせ先】

宮城県地球温暖化防止活動推進センター TEL 022-301-9145

http://www.melon.or.jp/melon/contents/Global_Warming/eco/index.htm

5 . 秋田県「菜の花で、畑も地球も元気にしたい。」

休耕地に菜の花を。食べて、絞って、いろいろ使えて、バイオ燃料にもなる。

【団 体】秋田菜の花ネットワーク

【タイトル】「秋田流」菜の花多段階活用で農業・農村の活性化を！

ローテク・ローコストで小地域循環連携を！

【活動概要】

秋田県菜の花ネットワークは、農家や運送会社、行政、大学教授などが参加。菜の花を使った食用油、料理、飼料、バイオディーゼル燃料(BDF)などを研究しています。県内菜の花作付面積は、転作作物として作付けが広がり、去年の 80ha から今年では約 120ha までに拡大し、遊休地、耕作放棄地、休耕地を対象に地元農家の菜の花栽培に協力しています。菜の花の連作障害対策として、3年に1年はソバを植える「天ぷらそば」構想などもあります。



【問い合わせ先】

秋田県地球温暖化防止活動推進センター TEL 018-839-8309

<http://www.eco-akita.org/onsen/>

6 . 山形県「ちょぺっとお得な、資源回収。」

消費者もお店も、ちょぺっと（少し）得する、
お買い物ポイント付資源回収プロジェクト「ちょぺっと」。

【団 体】非営利組織 NPO - AMP

【タイトル】中心商店街資源回収プロジェクト「ちょぺっと」

【活動概要】

「ちょぺっと」とは、山形の方言で「ほんの少し」という意味。商店街の資源回収店に資源を持ち込むと重量に応じてポイントを発行。100 ポイント（100 ちょぺっと）で 100 円分の買い物券として利用が可能です。利用客も、商店も、商店街も、自治体も、総じてみんなが「ちょぺっと」つつ得をすることで、地域の中に大きな流れを生み出し、地域全体からの CO₂ 排出量の抑止・温暖化対策に貢献しています。



【問い合わせ先】

山形県地球温暖化防止活動推進センター TEL 080-5577-3320
<http://eny.jp/>

7 . 福島県「環境キャラクター「環太郎」、大人気！」

環境守り隊“チーム環太郎”の、地球温暖化防止啓発活動。

【団 体】チーム環太郎（郡山市環境保全課）

【タイトル】郡山の環境守り隊“チーム環太郎”（郡山市環境保全課）

【活動概要】

平成 19 年 6 月の環境月間に、“鮮烈な”デビューを飾った郡山市環境保全課キャラクター「郡山の環境守り隊 “チーム環太郎”」を活用した地球温暖化防止啓発活動を実施。出張講座「どこでも環境教室」や、家庭の省エネを進める「環境家計簿」など各種事業にてキャラクターを活用することで、より効果的な普及啓発を行っています。さらに、子どもたちにもわかりやすく伝えるために、手話の振り付けつきエコソング「GO！GO！環太郎」を製作。すべてボランティアと職員が知恵を出しあった手作りです。



【問い合わせ先】

福島県地球温暖化防止活動推進センター TEL 024-535-9522
<http://www.fukushima-ondanka.org/>

8 . 茨城県「エコで、社会復帰。」

障害者が、バイオディーゼル燃料作りに大活躍。町の需要もうなぎのぼり！

【団 体】社会福祉法人創志会つくばライフサポートセンターみどりの

【タイトル】福祉が創るつくばのエコオイル

【活動概要】

障害者が職業訓練の一環としてBDF(バイオディーゼル燃料)の精製に取り組んでいます。原料の廃食用油は地元スーパーなどと提携して集め、精製したBDFは地元スーパーの配送車や市内のスクールバス等の燃料へ。資源循環システムができあがっています。スクールバスを利用する生徒や関係する人々が温暖化問題へ意識を高めるのにも役立っていますし、主体である障害者は、地域の人々とふれあうことで自信とやりがいを感じる機会になっています。



【問い合わせ先】

茨城県地球温暖化防止活動推進センター TEL 029-248-7431

<http://business2.plala.or.jp/ibakobo/senta/ondanka.html>

9 . 栃木県「石油のかわりに温泉があるじゃん。」

石油に替わるクリーンエネルギーとして温泉の余熱・廃熱を使う、那須温泉の取り組み。

【団 体】那須温泉地球温暖化対策地域協議会

【タイトル】那須温泉地域 CO₂ 削減計画

【活動概要】

県内でも有数の温泉地、那須温泉。豊富な湧出量を誇る温泉は未利用エネルギーです。その温泉の余熱や廃熱を暖房や道路の融雪に使うなどの工夫を取り入れました。ホテルなどでもシャワーの廃湯、温泉の放熱などを利用したヒートポンプを導入し、灯油や重油を中心としたボイラー設備は補助的に使うのにとどめています。1998年の那須水害で壊滅的な打撃を受けた那須温泉、地域ぐるみで地球温暖化に立ち向かっています。



【問い合わせ先】

栃木県地球温暖化防止活動推進センター TEL 028-673-9101

<http://homepage3.nifty.com/tochiondan/ecosagase.html>

10 群馬県「燃やすなら、ガソリンより脂肪でしょ？」

自転車&徒歩通勤で運動不足も解消。市役所ぐるみの「てくてくりんりんプラン」。

【団体】伊勢崎市役所

【タイトル】てくてく・りんりんプラン

【活動概要】

職員が通勤するときにてくてく歩いたり、りんりん自転車で乗ったり、公共交通機関を利用。地球温暖化、大気汚染などの環境問題への取り組みであると同時に、通勤時の交通混雑の緩和も期待できます。職員自らが行動することで市民や事業者にも協力を呼びかける効果があります。データは毎月集め、CO₂排出削減量を測定。熱心に取り組んでいる職員や部署は庁内に公開し、より多くの職員に参加を呼びかけています。



【問い合わせ先】

群馬県地球温暖化防止活動推進センター TEL 027-237-1103
<http://www15.wind.ne.jp/~ccca-gunma/>

11 埼玉県「ビギナーにおすすめ！1日エコライフ。」

1日エコライフを楽しむ「エコライフ DAY」。

8年間で27万人が参加した川口市から、全国に拡大中。

【団体】特定非営利活動法人 川口市民環境会議

【タイトル】地球温暖化防止「はじめの1歩は・・・エコライフDAY」

【活動概要】

年に1日の「エコライフ DAY」、みんなでCO₂削減行動にチャレンジ！独自に作った“1日環境家計簿”を使って1日エコライフ生活をし、減らせたCO₂量を集計・発表します。参加者は取組み効果を実感することができ、地球温暖化防止への意識の向上と活動への参加が期待できます。今年度は61,041人、県内では41万人もの参加が。集計やデータ分析にはそろばん教室の子ども達、他にも企業や諸団体等、さまざまな組織と手をつなぎながら輪が広がっています。



【問い合わせ先】

埼玉県地球温暖化防止活動推進センター TEL 048-649-8087
<http://www.kannet-sai.org/concours/>

12. 千葉県「親子で“まちエコ”。」

身近な暮らしからエコに取り組む「親子の日」をスタートした、ニュータウンのこれから。

【団体】ユーカリが丘親子の日実行委員会

【タイトル】ユーカリが丘親子の日 まちエコ宣言！

【活動概要】

環境問題と少子高齢化問題を一体の問題としてとらえ、「エコを楽しみながら考える」街づくりに取り組んでいます。約3万人が参加する「ユーカリ祭り」では山万ユーカリが丘線を無料開放してノーカーを実践したり、「ユーカリまちエコ宣言！『お買い物にはマイバッグを持とう！』」を呼びかけたり、住民の意見や取り組みを募集して「まちエコ宣言」を行ったり。イベントには一部グリーン電力を利用。商店会や学校も巻き込んだ街づくりを展開中。



【問い合わせ先】

千葉県地球温暖化防止活動推進センター TEL 043-246-2180

<http://www.ckz.jp/onndannka/>

13. 東京都「東京を、自転車観光しませんか。」

クルマに替わる、エコな都心交通網へ。

サイクリストみんなで作る「東京自転車グリーンマップ」。

【団体】アーバンエコロジー東京

【タイトル】東京自転車グリーンマップ

【活動概要】

自転車にぴったりのまち、東京。「東京自転車グリーンマップ」を作り、短距離の移動には自転車を使おうと呼びかけています。マップはレンタサイクル、修理店などの自転車情報を網羅しています。サイクリングで素顔の東京を再発見すれば、地域の活性化や健康の増進にもぴったり。自転車でめぐるライフスタイルを提案しています。



代表になれなかった取組でも・・・

大都会東京を意識した一品が都代表になりましたが、東京には昔ながらの里山があったり、江戸の文化を残していたり。あきる野市の里山保全や墨田区の雨水利用や緑のカーテンを地域一体で取り組む活動も魅力的です。

【問い合わせ先】

(株)プレック研究所内 ストップ温暖化大作戦東京本部 TEL 03-5226-1129

<http://tokyo-co2.jp/>

14. 神奈川県「エコでにぎわう商店街。」

お客からエコマネーで買った生ごみで有機野菜を育て、人気商品に。
みんなが得するエコ商店街。

- 【団体】厚木なかちょう大通り商店街振興組合
【タイトル】地球温暖化ストップで地球に優しい街づくり
【活動概要】

商店街の中に設置したエコステーションに、会員が持ち込んだ生ごみ百グラムにつきポイント（一円相当）をポイントカード（エコマネー）に加算！生ごみは乾燥させ、東京農業大学に持ち込み不純物を除去、契約農家で堆肥として利用。有機野菜「なかちょう野菜」ブランドとして商店街で販売、循環しています。風と太陽光のハイブリッド街路灯、空き缶・ペットボトルの回収機も設置、先進的な取り組みで名高いエコ商店街です。



【問い合わせ先】

神奈川県地球温暖化防止活動推進センター TEL 045-321-7453
<http://www.kccca.jp/issonippin.html>

15. 山梨県「回れ！市民の水車発電所！」

木製の水車で電気をつくる小さな市民発電所、元気くん1号。

- 【団体】都留市
【タイトル】回れ！家中川小水力市民発電所「元気くん1号」！
【活動概要】

水のまち都留市。市制50周年を記念したモニュメントが市役所前を流れる歴史ある家中川（かちゅうがわ）にお目見えした小水力発電所「元気くん1号」。市役所隣の小学校校庭との落差わずか2mを利用した昔ながらの木製下掛け水車、視覚的な効果に加え、環境教育へも貢献しています。設置には市民参加型ミニ市場公募債「つるのおんがえし債」を発行、ネーミング効果もあり多くの市民の協力と理解を得ています。



【問い合わせ先】

山梨県地球温暖化防止活動推進センター TEL 055-228-3830
http://www15.plala.or.jp/yamanashi-f21/2007_contest/contest3.html

16.新潟県「生ごみは、土に返せば、ごみじゃない。」

街中の家庭の生ごみで、いい土づくり。ごみ焼却のCO₂も減った、市民リサイクルです。

【団体】長岡生ごみ培養土循環システム協議会（ながおかバケツの会）

【タイトル】生ごみを土に戻して「ストップ温暖化！」

【活動概要】

長岡市越路地域 300 世帯の協力で生ごみを燃やさずに土に返す取り組み。広げた生ごみに培養土を薄くかけ、さらに生ゴミを広げ... とサンドイッチしていくと、生ごみは「臭わない、汚汁がでない、虫がわかない」方法で処理できるのです。協力世帯は 2 年で 8 世帯から 300 世帯に拡大。現在、越路地域での全面展開、目標 4,000 世帯の参加を提案中です！



【問い合わせ先】

新潟県地球温暖化防止活動推進センター TEL 025 - 264-2144

<http://www.eco-niigata.or.jp/essa/>

17.静岡県「緑のカーテンで、まち中ひんやり。」

朝顔のカーテンをおうちの日よけに。まち中に広がり、エアコンの使用率が大幅減。

【団体】エコミュー奥大井（川根本町地球温暖化対策地域協議会）

【タイトル】まちじゅうに広がれ！緑のカーテン

【活動概要】

地球温暖化対策地域協議会「エコミュー奥大井」は、川根本町の(株)神田組（土木業）が中心となり結成された自治会、企業、観光協会、役場などで働くエコおやじの集まりです。家庭・商店の窓辺に「緑のカーテン」をつくったり、SL 目当ての観光客でにぎわう大井川鐵道の千頭駅前に緑のトンネル「通りゃんせ」をつくったり、特産の茶がらを自然乾燥させた「エコ茶がら」を配ったり。わいわい楽しく取り組んでいます。



代表になれなかった取組でも・・・

昨年からはじめた「ストップ！温暖化アクションキャンペーン」で、今現在のエントリー数は 640 チーム。チーム人数 29,371 人、アクション参加人数 146,736 人と数の多さでは日本一です。静岡県センターが選りすぐってを紹介してくれます。

【問い合わせ先】

静岡県地球温暖化防止活動推進センター TEL 054-271-8806

<http://sgwcs.com/>

18. 富山県「路面電車がゲンキな街。」

クルマがなくても、べんりな街へ。LRT でますます便利になる路面電車の街、富山。

【団体】富山市

【タイトル】富山港線のLRT化による公共交通活性化の取り組み

【活動概要】

富山市では、車中心の拡散した都市構造からの脱却を図り、公共交通を軸としたコンパクトなまちづくりを進めています。その一環として、平成18年4月に、鉄道路線であった富山港線をLRT化。従来、日中は1時間間隔だった運行本数を10～15分間隔にして終電時間の延長を図ったり、設備面では全車両に低床車両を導入し、段差の無いホームとあわせてバリアフリー化し、高齢者や体の不自由な方にも利用しやすく改善。公共交通の利便性を高め、沿線に人口を誘導することで、都市機能の集積を図り、車に頼らなくても生活できるまちをめざしています。



富山市では、車中心の拡散した都市構造からの脱却を図り、公共交通を軸としたコンパクトなまちづくりを進めています。その一環として、平成18年4月に、鉄道路線であった富山港線をLRT化。従来、日中は1時間間隔だった運行本数を10～15分間隔にして終電時間の延長を図ったり、設備面では全車両に低床車両を導入し、段差の無いホームとあわせてバリアフリー化し、高齢者や体の不自由な方にも利用しやすく改善。公共交通の利便性を高め、沿線に人口を誘導することで、都市機能の集積を図り、車に頼らなくても生活できるまちをめざしています。

【問い合わせ先】

富山県地球温暖化防止活動推進センター TEL 076-431-4607

http://www.tzk.or.jp/ondan_center/fram_set.html

19. 石川県「定期預金で、CO₂削減。」

定期預金の一部を環境団体に寄付できる、『きんしんエコロジー積金』。

【団体】金沢信用金庫

【タイトル】金融商品を通じての地域環境保全活動の推進

【活動概要】

金沢信用金庫は、加入者に「直接的・間接的」環境保全活動に参加してもらい、「金融商品」としては全国の銀行・信用金庫で初のスキームとなる社会貢献型定期積金『きんしんエコロジー積金』を開発。加入者に『環境保全活動取組みチェックシート』を配付し、家庭又は事業所でCO₂削減に取り組んでいただき、そのチェックシートを提出した方にエコ記念品をお渡しします。また、その給付契約高の一部を環境団体に寄付しています。



【問い合わせ先】

石川県地球温暖化防止活動推進センター TEL 076-232-3991

<http://www.eco-partner.net/>

20 .福井県「エコをためて、おトクなショッピング。」

エコアクションでポイントが貯まったら、お店で割引。
おトクなエコポイントカード、大好評！

【団 体】環境パートナー池田

【タイトル】町ぐるみでエコ活動！ エコポイントが人と町をつなぎます

【活動概要】

エコ活動をポイント化しカードに貯め金券として利用する仕組みです。ポイント対象の環境行動をまち全体に広げているのが最大の特長で、一般店舗での3R活動のほか、環境・農業・教育機関など町内全体での関連活動も拾い上げ、様々な層の住民が少しずつ無理なく参加できます。ポイント発行・還元を行う協賛店には町内大半の商店が参加、地域振興面でも活用されており、独立した組織でそれぞれが企画運営でき継続性・発展性も確保。まち全体を巻き込んで、全体で大きなCO₂削減と町民の意識向上に成功しています。また環境を軸としたまちづくり活動という二次的効果も生まれています。



【問い合わせ先】

福井県地球温暖化防止活動推進センター TEL 0776-30-0092
<http://www.stopondanka-fukui.jp/>

21 .長野県「7000人×家族が、エコでひとつに。」

29事業所7000人の従業員が一斉エコ行動。減らしたCO₂、40t！

【団 体】地域ぐるみ環境ISO研究会

【タイトル】地域ぐるみの温暖化防止一斉行動

【活動概要】

地域ぐるみ環境ISO研究会は、「地域の自然を残し、持続可能な地域づくりのため、新しい環境文化を創造する」ことを目的に発足した事業所ネットワーク。南信州29の事業所、従業員数約7,000人が加入。京都議定書の発効した2月16日や、環境の日の6月5日など、地球温暖化防止などに関わる記念日に、南信州域内の事業所全体に参加を呼びかけ、ノーマイカー通勤、夜10時以降のライトダウン、事業所ごとの温暖化防止に向けた行動に取り組んでいます。また取り組みの結果をCO₂に換算し、参加事業所や市民に報告し、温暖化防止の環を広げています。



【問い合わせ先】

長野県地球温暖化防止活動推進センター TEL 026-237-6625
<http://www.dia.janis.or.jp/~nccca/>

22 . 岐阜県「森の発電所。」

木くずを使った木質バイオマス発電「森の発電所」で、CO₂削減。

- 【団 体】東濃ひのき製品流通協同組合
【タイトル】木を活かし地球を守るお手伝い
【活動概要】

「東濃桧」に代表される林業の町であり、林業、木材産業が地域経済を支えています。そのまち全体で、加工過程で出る木くず（産業廃棄物）と、間伐で発生する未利用材を燃料とした「木質バイオマス発電施設」で電力をつくり、組合直営工場の動力を確保し、更に余剰電力を電力会社に売電。また、余熱で木材の人工乾燥も行っています。



【問い合わせ先】

岐阜県地球温暖化防止活動推進センター TEL 058-247-3105
<http://www.koeiken.or.jp/ondanka/>

23 . 愛知県「ゲームで、なるほど！エコな交通。」

環境にやさしい交通って？ゲームで楽しみながら、学びます。

- 【団 体】(社)日本技術士会・中部支部・中部青年技術士会・持続可能な交通を考えるワーキンググループ(TMO)
【タイトル】「交通ゲーム」による環境啓発
【活動概要】

企業の枠を超えた技術者ネットワークというユニークな場を通じ、ゲームというツールを用いて「環境にやさしい交通選択」を市民に訴え、地球温暖化防止へ協力を求めています。ゲームを通じて考えることにより、交通手段の選択に影響することが期待されます。また、開発した交通ゲームのマニュアル、ノウハウは公開し、無償で配布しています



【問い合わせ先】

愛知県地球温暖化防止活動推進センター TEL 052-627-0300
<http://www.kankyosoken.or.jp/ondanka.html>

24．三重県「お客さんの9割が、もうマイバッグ。」

スーパーを中心にレジ袋有料化。もうええじゃんかマイバッグ持ってこ運動。

- 【団体】マイバッグもってこ運動協議会
【タイトル】ええじゃんかマイバッグもってこ運動
【活動概要】

全国でも類を見ない、各事情に合わせたさまざまな「レジ袋削減モデル」を県内主要都市で構築し、点を線で結ぶことで全県運動に発展させた、今後のレジ袋削減のモデルケースとなりうる先進的取り組みです。



【問い合わせ先】
三重県地球温暖化防止活動推進センター TEL 059-253-4197
<http://www.mie-ondanka.org/>

25．滋賀県「菜の花畑で、埋めつくそう。」

見て、食べて、石鹸にして、クルマも走れる。
スーパー野菜「菜の花」を、故郷のエネルギーに。

- 【団体】NPO法人 菜の花プロジェクトネットワーク
【タイトル】資源循環地域システム「菜の花プロジェクト」の展開
【活動概要】

「菜の花プロジェクト」は地域分散・地域自立で資源循環型社会形成を推進する取り組み。家庭から出る廃食用油をせっけんやバイオディーゼル燃料に精製して地域で活用します。
身近な廃食用油から化石燃料代替燃料ができ、CO₂削減に貢献できるのだと、市民が気づき意識転換することもねらいの一つ。
住民の共感と参加の拡大を伴いながら地球温暖化防止等の問題解決と、農業・農村の再生も図ります。



【問い合わせ先】
滋賀県地球温暖化防止活動推進センター TEL 077-524-7168
<http://www.ohmi.or.jp/ondanka/>

26 . 京都府「ウッドマイレージって、知ってはる？」

高校生がチャレンジ！ 家作りの輸入材を国産材に替えるウッドマイレージで、CO₂削減。

【団 体】京都府立北桑田高等学校 森林リサーチ科

【タイトル】地元の木を使って「ウッドマイレージ」を減らそう！

【活動概要】

京都の北山地域に 1200 年間にわたり蓄積された林業技術は、世界に誇る京の建築文化を支えてきましたが、その北山林業も不況にあえぎ衰退しています。この地域に立地する高校が、木材の地産池消がウッドマイレージ（木材の輸送距離）を短縮して CO₂ 排出を削減することに着目し、地元の研究機関と連携して地元産スギ・ヒノキ材を使ったログハウスや家具を製作・提供。京都府から「府内産木材 取扱事業体」の認定を受けました。



【問い合わせ先】

京都府地球温暖化防止活動推進センター TEL 075-211-8895

<http://www.kcfca.or.jp/>

27 . 大阪府「エコあめちゃん、いらんか？」

大阪のおばちゃん同士が配りあう「あめちゃん」。エコ情報を載せて渡します。

【団 体】大阪あめちゃん大作戦・推進本部

【タイトル】あめちゃんひとつでコミュニケーション「レッツ・ストップ・温暖化」

【活動概要】

大阪のおばちゃんなら、みんなバッグの中に「あめちゃん」を入れている。友達にはもちろん、バスツアーで一緒になった人、電車で隣り合わせた子供など、配るために持ち歩いているといっても過言ではない。この「あめちゃん」にちょっとした情報を載せたら・・・？温暖化防止のメッセージ付きで、いくつかのイベントで配布中。100%受け取ってもらえるのがこの「あめちゃん」の威力。1 個食べている間に、チラシを読んでもらってます。



【問い合わせ先】

大阪府地球温暖化防止活動推進センター TEL 06-6266-1271

<http://www.osaka-midori.jp/ondanka-c/jigyono1/>

28 . 兵庫県「高校生サークルの、エコって青春。」

マイバッグ、マイうちわ。高校生の情熱が街のエコ意識をガラリと変えた！

【団体】兵庫県立三木北高等学校 環境研究サークル ECO P

【タイトル】EC02.0 高校生発！地球温暖化防止キャンペーン

【活動概要】

「ECO - P (えこぴい)」は、環境に関心を持つ高校生 11 名が様々な斬新なアイデアを考案し、それを関係団体・行政に提案、多くの団体・個人と連携して地域の地球温暖化防止を推進するサークル。地元商店街とともに地域活性化と連動させた「マイバッグ運動」、間伐した竹製のうちわを用いた「マイうちわ推進キャンペーン」等を開催。市内だけでなく県内及び全国にも地球温暖化防止活動の環を広げています。



【問い合わせ先】

兵庫県地球温暖化防止活動推進センター TEL 078-735-2738

<http://www.eco-hyogo.jp/ondancer/>

29 . 奈良県「朝のラッシュから、クルマが消えた。」

全国初！朝の駅前マイカー規制で、渋滞も CO₂ も激減！

【団体】学園前駅周辺のマイカー規制の取り組み（奈良交通（株））

【タイトル】近鉄学園前駅周辺のマイカー規制の取り組み

【活動概要】

近鉄学園前駅周辺地区は、昭和 37 年頃から大阪のベッドタウンとして宅地開発が進み、特に朝のラッシュ時は駅に家族を送迎するマイカーが急増。乗合バスの遅延が一層マイカーの利用増につながる悪循環に。そこで昭和 60 年より、国土交通省・警察・自治体・関係機関と地元住民による粘り強い協議が行われ、朝ラッシュ時の 1 時間、駅周辺南北 3.1 キロの駅行き車線をバス・タクシー等のみの通行とする交通規制を全国で初めて実施。バスの定時性が確保され、マイカーからの排気ガスが削減できました。



【問い合わせ先】

奈良県地球温暖化防止活動推進センター TEL 0742-35-6730

<http://naso.jp/takumi/>

30 . 和歌山県「まちの電気は、まちで作れる。」

市民のチカラで、4個の自然エネルギー発電。まもなく5個めの小水力発電所、オープン！

【団体】紀州えこなびと

【タイトル】市民共同発電で元気なまちづくり

【活動概要】

紀州えこなびとは、経済活動と環境配慮を両立させた持続可能な社会の実現を目標に、市民共同発電事業を実施。「みんなで考え、みんなで取り組む」をキーワードに、世代や職業など関係なく、設置から発電した電力の使用までをみんなで話し合っ



て決めています。市民の力だけで行う地域のニーズに合った自然エネルギーの発電施設は、これまでに和歌山県の紀北地域に4基設置。来年度は紀南地域に小水力発電施設を設置予定です。

【問い合わせ先】

和歌山県地球温暖化防止活動推進センター TEL 073-432-0234
<http://wenet.info/wenet/project/isson/>

31 . 鳥取県「割り箸も天ぷら油も、10年前から資源です。」

10年前の中海の水質浄化から始まった、町ぐるみで割り箸・廃天ぷら油再資源化運動。

【団体】彦名地区チビっ子環境パトロール隊

【タイトル】中海水質浄化から始まった
割り箸・廃天ぷら油の再資源化運動

【活動概要】

家庭から出る生活排水と中海の水質汚濁の勉強が始まり、水質汚濁の大きな原因となる廃天ぷら油の回収がスタート。この活動が、現在BDF製造にまで発展しています。

パトロール隊を指導する向井哲朗氏は、子供達との勉強会で出た素直な疑問「教科書には緑が大切と書いてあるのに、おじさんの紙工場では森林破壊しているの？」という問いかけから、全国で初めての試みでもあった割り箸回収を展開。今では地域全体での取組となり、更には全国へと発信しました。



【問い合わせ先】

アーピーとっとり&賀露おやじの会 TEL 090-1184-2878
http://www.geocities.jp/karo_oyaji/stop/stopindex.html

32 .島根県「落ち葉 拾って、集めて、リサイクル！」

スターになった、厄介者の落ち葉。

【団 体】上乃木 2 区自治会連合会

【タイトル】けやき落ち葉拾い大作戦!!

【活動概要】

街路樹地して樹齢 50 年にもなるケヤキが 80 本植わっている松江市上乃木 2 区の「けや木通り」。秋になると、落ち葉が大量に出て、その処理（焼却処分）のため多くのエネルギーを消費し、地域住民や道路の管理者からは厄介者あつかいされてきました。長年の研究の結果、その落ち葉の堆肥化に成功。処理に要していたエネルギーの削減に貢献できたのです。今では、地域住民や企業・団体など総勢 400 人余りが参加し活動しています。



【問い合わせ先】

島根県地球温暖化防止活動推進センター TEL 0852-32-5953

<http://www.shimane-furekan.or.jp/kankyo/chikyu/network/index.html#jyusho>

33 . 岡山県「木くずだって、電気つくれます。」

真庭地域の木質バイオマス資源で、エコ発電と CO₂ 削減。

目標、日本一のバイオマスタウン！

【団 体】銘建工業株式会社

【タイトル】木くずを燃やしてエコ発電と CO₂ 削減！

木質バイオマス利活用の先駆者です！

【活動概要】

地球温暖化防止と燃料費の大幅削減、工場からごみを出さないゼロエミッションを目的に、1970 年に重油から木屑焚きボイラーに転換。96 年には 20 トン焚き大型ボイラーと自家発電装置を導入。年間 33,346 t の CO₂ 削減を行っています。製造過程で生じるプレーナーチップは、ペレットに加工し、全国に販売。木材産地の先駆的取り組みとして高く評価されています。「バイオマスタウン」を目指す中核的存在です。



【問い合わせ先】

岡山県地球温暖化防止活動推進センター TEL 086-224-7272

http://www.kankyo.or.jp/koueki/ondanka/isson_ippin.html

34 . 広島県「市民どうしが、CO₂ 排出量取引。」

町ぐるみで、市民版 CO₂ 排出量取引に挑戦。

その名も GETS (Group Emissions Trading System) で削減目標をゲット！

【団 体】ひがしひろしま環境家族

【タイトル】広げようGETSで環境家族
グループで取り組む市民版排出量取引

【活動概要】

「グループで取り組む市民版 (CO₂) 排出量取引 Group Emissions Trading System=GETS (ゲッツ) 」という新たなしくみを活用した、地域ぐるみの CO₂ 排出量削減運動。GETS は、グループ・地域で排出量取引を行うことで、地域ぐるみで助け合える仲間「環境家族」をつくり、CO₂ の削減目標達成をめざしています。



【問い合わせ先】

広島県地球温暖化防止活動推進センター TEL 082-293-1512

<http://www.kanhokyo.or.jp/ondan/ondan.html>

35 . 山口県「古新聞から、エコの家。」

県産材の木や新聞紙リサイクルの断熱材で建てる「木の家」で、エコタウン作り。

【団 体】株式会社 安成工務店

【タイトル】環境共生の家づくりを通じた地域循環・地域経済の両立

【活動概要】

新聞紙をリサイクルし、製造負荷の少ない「セルローズファイバー断熱材 (デコスドライ工法) 」を開発。新聞紙を工場に持ち込むことで地域通貨「エコロ」を発行して地域に還元する地域循環システムを構築しました。現在、環境共生技術を注ぎ込んだ「安岡エコタウン」を開発。木の家、OMソーラー、CF断熱材に加え、雨水利用や、ペレットを燃料として給湯・暖房・冷房を行う地域集中冷暖房システムを20区画に設置しています。



【問い合わせ先】

山口県地球温暖化防止活動推進センター TEL 083-933-0018

http://www.yobou.or.jp/yccca/tome_op.htm

36 . 徳島県「リサイクルショップ'だし、自然エネルギーにしました。」

様々なハンディーを持った人々が働く、自然エネルギー活用のリサイクルショップ。

【団 体】NPO法人太陽と緑の会

【タイトル】使わなソソソソ！自然の恵みで地球も人も快適に

【活動概要】

様々なハンディーを持ったメンバー達と、リユース・リサイクル活動を続けてきたNPO法人太陽と緑の会。平成17年の火事で全国的な支援を受け、『太陽と緑の会自然換気システム』を独自で考案建設。事務所・面談室を除きエアコンを設置せず、太陽光発電パネルと太陽熱温水器を導入し、電気とお湯の多くを自家生産。大幅なCO₂削減と環境学習の場としても、中高生や市民等に学習会を行っています。



【問い合わせ先】

とくしま環境県民会議 TEL 088-621-2210

<http://www.pref.tokushima.jp/Generaladmin.nsf/topics/E4A5E58C1A836A3E4925739B0010A594?opendocument>

37 . 香川県「子どもたちで、学校の電力へらしめました。」

実験や体験を通して小学生がつかんだユニークな省エネのコツ、一挙発表。

【団 体】三豊市立下高瀬小学校

【タイトル】スマートライフを広げよう

【活動概要】

子どもたちがエネルギーの無駄遣いをなくそうと活動を始め、実験や調査を行い、省エネのコツを見つけていきました。見つけた省エネのコツを省エネ教室で互いに検証し、深めるとともに、省エネルギーセンターなどと連携し、農業体験や和紙づくりなどの体験から学んだことを省エネのコツに加えていきました。そして、校内での呼びかけを行い、校内の消費電力量を削減。省エネCMをつくり、地域にもよびかけたり、市の広報に活動の様子を掲載して市全体へも発信。



【問い合わせ先】

香川県地球温暖化防止活動推進センター TEL 087-833-2822

<http://www5.ocn.ne.jp/~k-ecc/eecoto/eecoto.htm>

38. 愛媛県「キャンパスで笑ってエコする エコ川柳」

エコ川柳ステッカー - をキャンパスに貼って、温暖化防止を啓蒙する、学生グループ。

【団体】「温暖化防止まつやまネットワーク」学生ワーキンググループ

【タイトル】キャンパスライフから広げよう！温暖化防止の仲間づくり

【活動概要】

「温暖化防止まつやまネットワーク」学生ワーキンググループ(WG)は、キャンパスライフの中で最も効果の高い温暖化防止行動として、「エレベーターの使用は控えめに」、「紙は両面印刷」、「冷房は28℃、暖房は20℃」、「NO!レジ袋」、「ごみは少なく、分別はしっかりと」の5項目を提案。昨年度、各項目をテーマとしたエコ川柳を一般公募し、各テーマの入選作品を掲載した温暖化防止啓発用ステッカーを作成。市内の大学、専門学校等で温暖化防止行動を促しています。



【問い合わせ先】

愛媛県地球温暖化防止活動推進センター TEL 089-989-1068

<http://2007.e-ondankastop.main.jp/?eid=590582>

39. 高知県「いまだきのコドモ、エコキャラで笑う。」

幼稚園で、学校で。楽しいキャラクターのパフォーマンスで、子どもたちに温暖化防止教育しちゃう。

【団体】高知大学同好会こどもの森（初等教育・環境教育研究会）

【タイトル】太陽ちゃん・パネルマン大活躍！

【活動概要】

幼児期からの環境教育カリキュラムとして温暖化防止の環境劇を行っています。地球温暖化のことをわかりやすく劇にし、子どもたちが地球温暖化の恐ろしさに気づき、省エネについて考えられるような内容です。劇を通して学んだことを、手動式発電機や自転車発電機を使って実際に体験するプログラムなので、電気を大切に使うという気持ちが芽生え、子どもたちだけでなく、保護者やその家庭内にも広めています。



【問い合わせ先】

高知県地球温暖化防止活動推進センター TEL 088-802-2201

<http://ecolabo-kochi.jp/kotukotu/index.html>

40 . 福岡県「省エネで、足腰も丈夫になる」共和国、宣言。

健康づくりとCO2削減で、団地を再生。その名も、葉山共和国。

【団 体】葉山ヘルスケア・省エネ共和国

【タイトル】ニッポンを元気にするための解決策「葉山共和国モデル」

【活動概要】

葉山ヘルスケア・省エネ共和国は、住民の健康を守る「ヘルスケア」という共通認識のもと、社会貢献のための中心的活動として、「省エネ」を推進。健康や住みよい地域づくりという身近な視点から、自分でできる「省エネ」に取り組んでいます。活動はまちづくりの一環として捉え、あらゆる活動を通じて、住民の融和を図っています。これにより、「省エネ」に対する理解とコンセンサスが生まれ、企業・大学などと連携した「省エネ」のネットワークが葉山地区に広がっています。



【問い合わせ先】

福岡県地球温暖化防止活動推進センター TEL 092-674-2360
<http://www.fccca.jp/>

41 . 佐賀県「ごみくい」って、知ってます？」

小川の泥をみんなですくって田畑にまく「ごみくい」。生態系を壊さない昔の農法を再生します。

【団 体】三気（元気・有機・活気）の会

【タイトル】ゴミクイを活用した有機農業の推進

【活動概要】

クリーク文化圏である佐賀の知恵“ごみくい”。この伝統を復活させることにより、栄養素資源の枯渇する時代の中で有機資材を確保し、循環型農業を持続的に実現。また、水辺環境生態系を再生し、安全・安心な食料の安定供給を図っています。また、地元子ども会、小中学校、大学、市民等に対し、農業体験に基づく環境教育・生涯教育を行い、住民のゆとりを取り戻すことで、地域コミュニティを再構築。さらに、安全・安心な地域環境確保のために地元大学と連携し、土・水中の有害重金属および残留農薬の分析評価を行っています。



【問い合わせ先】

佐賀県地球温暖化防止活動推進センター TEL 0952-20-2073
<http://eco.sagafan.jp/>

42. 長崎県「ゲンキな（元気菜）コンテスト。」

生ごみリサイクルの土で育てた「元気野菜」のおいしさを競うコンテストで、エコ意識を啓発。

【団体】チーム・リサイクル(し)隊

【タイトル】元気菜！コンテスト

【活動概要】

生ごみ減量化、廃油石けん作りなどの環境対策に取り組む、平成16年から長崎県の生ごみ減量化事業に参加。行政や関係団体とのネットワークづくりで活動の場が広がり、市民に生ごみ減量化リサイクルをアピール。現在「元気野菜コンテスト」で市民がこの活動に気軽に取り組めるように、環境問題に取り組む地元スーパーの協力を得て店の一角に資料や資材を置いています。さらに、食育分野とつながることで、「命の循環」や「自然との関わり」を考えるきっかけづくりにもなっています。



【問い合わせ先】

長崎県地球温暖化防止活動推進センター TEL 095-818-3305

<http://www.npo-ecan.org/>

43. 熊本県「まち、まるごとISO。」

役所も家もお店も学校も旅館も、オリジナルのISOで温暖化対策。

【団体】水俣市

【タイトル】地域全体丸ごとISO

【活動概要】

熊本県内では初、全国では6番目にISO14001の認証を取得、82項目に及ぶプログラムを構築・実施。その結果、地域イメージの向上、環境モデル都市づくりに向けた市民の啓発、職員の環境意識の高まり、省エネルギーの推進とそれに伴う経費節減、地球温暖化防止といった様々な効果が現れました。また水俣市のオリジナルの家庭版、お店版、学校版、幼稚園版、旅館版といった独自のISOを次々に創設し、地域全体で実践活動を展開。



【問い合わせ先】

熊本県地球温暖化防止活動推進センター TEL 096-356-4840

<http://www.kuma-ontai.jp/>

44 . 大分県「環境都市日本一になるぞ！」

生ごみがエネルギーの市営発電所「バイオマス資源化センター」と、全小中学校の環境ISO認定。

【団体】日田市

【タイトル】「環境都市日本一」をめざす大分県日田市の取り組み

【活動概要】

市内全世帯及び全事業所から排出される生ゴミを分別収集して資源化。バイオマス利活用による循環型社会の構築を図っています。また、子どもたちが環境問題の大切さを理解し、教職員・児童・生徒が一体となって「環境に良い学校づくり」に向け取り組めるよう、平成12年度に「日田市学校版環境ISO認定制度」を創設。現在、市内の小中学校42校全てが認定を受け、積極的な環境教育を実施。昨年の市町村合併後2年足らずで、新たに加わった町村全ての小中学校で取得しています。



【問い合わせ先】

大分県地球温暖化防止活動推進センター TEL 050-7548-6795

<http://oec.main.jp/>

45 . 宮崎県「まちは、キッチン産のエネルギーで動きます。」

廃油も地産地消。じぶんたちで、バイオエネルギーを作ろう。

【団体】バイオマス研究会、宮崎市

【タイトル】宮崎市・バイオ燃料における官民の取り組み

【活動概要】

廃油の回収、BDFを作るための装置の製作、燃料の精製作業と研究、燃料の使用と車両への影響の研究、副産物の有効利用への研究、原料となる植物の栽培研究などを行っています。また、自治会等が、回収拠点などを決めた上で登録し、家庭から排出される植物性の廃食用油を回収しています。回収に必要な容器は、宮崎市から貸与し、団体ごとに1ヶ月に1度回収。集めた廃食用油をBDFに再資源化し、同市のごみ収集車の燃料として利用。回収に協力する団体に対しては、1リットルあたり70円の報償金を交付しています。



【問い合わせ先】

宮崎県地球温暖化防止活動推進センター TEL 0985-23-0322

<http://www.mc3a.org/>

46. 鹿児島県「ゴミって、28個も分別できるんです。」

28項目のごみ分別から、無農薬野菜栽培まで。
エコなこといっぱい取り組む、スーパーエコタウン。

【団体】大崎町

【タイトル】「知恵の環(わ) ひとの環(わ) 資源の環(わ)」ストップ温暖化プロジェクト
～住民・企業・行政が一体となった資源循環型のまちづくり～

【活動概要】

住民と行政の協働活動である28品目にわたるごみの分別収集、住民組織「衛生自治会」が主体となって取り組んでいる「菜の花エコプロジェクト」、行政の「チーム・マイナス6%」をスローガンにした地球温暖化防止活動実行計画に基づく率先行動、商工会と行政が連携し、住民参加型の温暖化対策を推進する「省エネ家族・応援プラン」など、住民、企業、商工会、学校および行政などが地域ぐるみで一体となり活動しています。



【問い合わせ先】

鹿児島県地球温暖化防止活動推進センター TEL 099-805-0158

<http://www.kagoshima-env.or.jp/>

47. 沖縄県「地豆腐食べて、CO₂を減らそう。」

豆腐を、大豆づくりから再現。うまさもフードマイレージも、優等生。

【団体】繁多川公民館

【タイトル】あたいくわープロジェクト

【活動概要】

沖縄在来種の大豆オーヒーグー（青ヒグ）高アスターを地域の人々が栽培・普及し「昔の繁多川豆腐」を再現。住民間のコミュニケーションの場や機会を広げ、繁多川地域のさらなる活性化・まちづくりの一助としています。また、地産地消を促進し、フードマイレージによる温暖化対策を実行中です。



【問い合わせ先】

沖縄県地球温暖化防止活動推進センター TEL 098-945-2686

<http://blog.canpan.info/okica/>